

## (1) タイトル

通常学級で、パソコンの読み上げ機能を使い、電子教科書を利用して勉強している、読み書き障害のある生徒の事例

## (2) 事例の対象となる児童生徒

本生徒は、定時制の高校へ通う、読み書き障害のある高校生である。特に読むことに困難があり、パソコンの読み上げ機能を利用し、音声で印刷物の内容を把握することで学習している。

## (3) 本生徒の読み書きの実態について

- ・書き速度：小学1年生程度の書き速度（1年生平均：13.1文字/分、標準偏差=5.0文字）
- ・読み速度：小学1年生以下の読み速度（1年生平均：243.4文字/分、標準偏差=77.3文字）

※URAWSS (Understanding Reading and Writing Skills of Schoolchildren)：ココロリソース出版社／河野 俊寛・平林 ルミ・中邑 賢龍

## (4) 本生徒が高校で受けている読み書きの支援について

- ・パソコン (Windows) の教室への持ちこみと、授業中での使用許可
- ・AccessReading が提供する教科書の電子データ (Word 形式) の利用許可 (全教科)
- ・試験における、パソコンの読み上げ機能 (アドインソフト「和太鼓」) の利用と、キーボード入力による解答の許可
- ・授業で使用するプリント、試験問題・解答用紙等の電子データの提供 (USB でデータをもらい、パソコンで利用)
- ・電子データのない印刷物 (学校の配布物等) の教師や支援員等による代読
- ・パソコンを用いた試験の実施を別室受験で行うこと

## (5) 使用する機器 (支援機器) の名称と特徴

- ・アドインソフト「和太鼓」

Microsoft Word のアドインソフトである。読み上げた部分をハイライトさせた上で、音声を読み上げる。ルビをつけた場合、ルビを優先して、音声で読み上げてくれる。

(URL： <http://www.geocities.jp/jalpsjp/wordaico/wordaico.html> )

- ・AccessReading

AccessReading は、読みに困難がある児童生徒へ、教科書の電子データを配信・提供しているオンライン図書館である。配信・提供している教科書の電子データのファイル形式は、Microsoft Word 形式と、iPad などの電子書籍閲覧アプリ「iBoods」等で利用できる EPUB 形式の 2 種類がある。

(URL： <http://accessreading.org/> )

## (6) 教科書の電子データを利用したの生徒の感想

- ・勉強するときに常に人についてもらうことは難しいので、教科書の電子データがないと、自分は勉強することをあきらめることになる。
- ・紙の教科書では、見間違いがあったものが、読み上げを利用することで、確信がもてる。
- ・表なども全てテキスト化されているので、読めないという箇所がないことが嬉しい。
- ・全教科の電子データがあり、主要五教科と同じように他の教科も読めて便利である。例えば、保健体育などの教科が、授業中に利用することが多い。今まで、なんて読むのだろうと思っていたことが、他の教科と同じように読み上げさせて内容を理解することができるので、勉強に制限がなくなった。
- ・テキストデータは必須だが、それに加えて教科書の電子データに挿絵のイラストが入っているので、とても便利に使用できている。自分は、文字だけのパソコンのデータを見て、読みたい箇所を探すことに時間がかかっていた。しかし、イラストがつくことで、大体の場所の検討がつくので便利である。

## (7) まとめ : AccessReading が提供する教科書データを利用することで想定される学生への利益

1. 本人自身が自分にとって必要な環境になるように、個別のニーズにあわせた調整をすることが可能  
読み支援についての個別のニーズは人によって様々であること、また、困難な状態は様々であることから、自由な変更調整ができることが望ましい。AccessReading が提供する教科書データは、文字の大きさや、文字の背景の色、フォントの種類、音声読み上げの有無や読み上げ速度の変更など、自由な調整を自分で行うことが可能なため、個別のニーズに対応することができる。
2. 様々な機器で、同様のアクセシビリティ機能を使用することが可能  
本人以外に必ず支援者がいなければ学習できない状態や、特定の機器がないと勉強することができない状況では、学習の場面が制限され、自由な学習の機会を持つことが難しい。AccessReading が提供する教科書データは、Microsoft Word 形式と、iPad などの電子書籍閲覧アプリ「iBoods」等で利用できる EPUB 形式の 2 種類のファイル形式があり、身近にあるパソコンやタブレット PC 等で、すぐに使用することができる。このことにより、学習保障のための環境構築を行いやすいという利点がある。
3. 教科書以外のその他の書籍や情報に触れるスキルの獲得につながる  
教科書は、教室で使用される様々な教材のうちの 1 つにすぎない。副教材やその他の書籍、試験問題や解答用紙へも、教科書と同様に扱うことができるようにする必要がある。これらの教材に対しても、AccessReading が提供する教科書データで使用する読み上げなどの個別調整方法を用いることができるようになると、情報に触れ、学習の機会を広げることができると考えられる。